

学術論文	- 論文（査読のあるもの。学会などの抄録などは除く） - 本学学生が著者に含まれているものは赤字で記載 2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載
(論文)	
1	駒田富佐夫*, 木下淳.「副作用が疑われる症例報告に関する情報」による有害事象の転帰、発現時期、被疑薬の解析. 医薬品相互作用研究. 37(2): 7～15, 2013.
2	天野学*, 比知屋寛之, 安智美, 清原義史, 座間味義人, 瀬戸衛, 井上徹雄, 田中一穂, 倉田なおみ, 駒田富佐夫. 内用抗がん薬適正使用のための簡易懸濁法可否情報一覧表の作成. 社会薬学. 32(2): 43～47, 2013.
3	駒田富佐夫*, 木下淳.「副作用が疑われる症例報告に関する情報」による間質性肺疾患、肝機能異常、肝障害、アナフィラキシー反応、好中球数減少および好中球減少症の解析. 医薬品相互作用研究. 37(1): 17～26, 2013.
4	堀江弘子, 江口有一郎, 中村隆典, 水田敏彦, 桑代卓也, 岩本英里, 古賀さやか, 田代貴也, 富永智香子, 黒木茂高, 小野尚文, 木下淳, 本多義昭, 駒田富佐夫, 尾崎岩太, 安西慶三, 藤本一眞, 江口尚久*.肝炎ウイルス検査受診率向上には医療者による個別の意義の説明が有効である. 肝臓. 53(10): 591～601, 2012.
5	堀江弘子, 江口有一郎, 水田敏彦, 桑代卓也, 岩本英里, 古賀さやか, 田代貴也, 富永智香子, 黒木茂高, 小野尚文, 江口尚久*, 中村隆典, 木下淳, 本多義昭, 天野学, 駒田富佐夫, 藤本一眞.肝炎ウイルス検査を希望しない人の生活習慣の特徴とは？－特定健診の標準的質問票からの予測. 日本未病システム学会雑誌. 18(1): 98～101, 2012.
6	駒田富佐夫*, 中山優子, 木下淳.医薬品情報学掲載論文からみた医薬品情報学に関する研究の動向. 医薬品情報学. 14(1): 26～33, 2012.
7	天野学*, 駒田富佐夫, 井上聖子, 辰巳智子, 宮岡弘明, 緑川和重, 天野亜紀, 中村隆典, 清原義史, 横山照由.アンケート調査による簡易懸濁法でのチューブ詰まりの原因解析. 医療薬学, 38(2): 137～145, 2012.
8	堀江弘子, 岡田倫明, 江口有一郎, 水田敏彦, 岩本英里, 古賀さやか, 田代貴也, 富永智香子, 黒木茂高, 小野尚文, 江口尚久*, 中村隆典, 木下淳, 本多義昭, 藤本一眞, 岩切龍一, 小泉俊三, 駒田富佐夫.ニコチン依存症のスクリーニングテスト(TDS スコア値)は, 禁煙の行動ステージ (禁煙への意気込み) に影響を受ける.日本未病システム学

	会雑誌. 16(2): 374～376, 2010.
9	大向智也, 木下 淳, <u>駒田富佐夫</u> , 内海裕一*. マイクロ構造体を用いた高密度 3 次元細胞培養法の提案. 電気学会論文誌C (電子・情報・システム部門誌). 130-C(10): 1789～1794, 2010.
10	堀江弘子, 中村隆典, 黒木茂高, 小野尚文, 江口尚久, 木下淳, 本多義昭, <u>駒田富佐夫</u> *. 禁煙治療における患者背景と治療成績との関連性に関する調査研究. 医薬品情報学. 11(3): 180～188, 2010.
11	A.Kinoshita, D.Kobayashi, Y.Saitoh, <u>F.Komada</u> *. Effects of anticancer agents and scavengers for CMV-promoter-driven exogenous gene expression in genetically modified cells. J. Pharm. Pharmacol., 61(4): 527～531, 2009.
12	清原義史, 大西憲明, 角山圭一, 木下淳, 中村隆典, 宮本和英, 矢上達郎, 通山由美, <u>駒田富佐夫</u> , 奥村勝彦*. 姫路獨協大学における早期体験学習前後の学生アンケート調査. 医薬品情報学. 10(4): 273～279, 2009.
13	A.Kinoshita, D.Kobayashi, Y.Hibino, T.Isago, K.Uchino, K.Yagi, M.Hirai, Y.Saitoh, <u>F.Komada</u> *. Regulation of CMV promoter-driven exogenous gene expression with doxorubicin in genetically modified cells. J. Pharm. Pharmacol., 60(12): 1659～1665, 2008.
14	XR.Cui, K.Takahashi, T.Shimamura, J.Koyanagi, <u>F.Komada</u> , S.Saito*. Preparation of 1,8-di-O-alkylaloe-emodins, 15-amino-, 15-thiocyano-, and 15-selenocyanoaloe-emodins and studying their cytotoxic effects. Chem. Pharm. Bull., 56(4): 497～503, 2008.
15	XR.Cui, M.Tsukada, N.Suzuki, T.Shimamura, L.Gao, J.Koyanagi, <u>F.Komada</u> , S.Saito*. Comparison of the cytotoxic activities of naturally occurring hydroxyanthraquinones and hydroxynaphthoquinones. Eur. J. Med. Chem., 43(6): 1206～1215, 2008.
16	<u>駒田富佐夫</u> *, 木下淳, 平林敏彦, 小久保光昭. 「医薬情報担当者 (MR) に関するアンケート調査」 報告V ―女性MRおよびMR認定証の提示について―. 医薬品情報学. 10(2): 153～161, 2008.
17	<u>駒田富佐夫</u> *, 木下淳, 平林敏彦, 小久保光昭. 「医薬情報担当者 (MR) に関するアンケート調査」 報告IV ―医薬品情報の提供について―. 医薬品情報学. 10(1): 29～39, 2008.

18	N.Hada, H.Todo, <u>F.Komada</u> , K.Sugibayashi*. Preparation and Evaluation of Gene-transfected Cultured Skin as a Novel Drug Delivery System for Severely Burned Skin. Pharm. Res., 24(8): 1473～1479, 2007
19	<u>駒田富佐夫*</u> , 木下淳, 平林敏彦, 小久保光昭. 「医薬情報担当者 (MR) に関するアンケート調査」 報告Ⅲ ー好ましいMRについてー. 医薬品情報学. 9(3): 190～197, 2007.
20	<u>駒田富佐夫*</u> , 木下淳, 平林敏彦, 小久保光昭. 「医薬情報担当者 (MR) に関するアンケート調査」 報告Ⅱ ーMRとの面談についてー. 医薬品情報学. 9(2): 137～149, 2007.
	2006 年以前 74 報

著書	著書（2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載。）
(著書) 1 2 3 4 5	<u>駒田富佐夫</u>他、患者の遺伝子情報と医薬品情報、折井孝夫編、図解医薬品情報学 改訂 3 版、南山堂、東京、pp172～179、2014、分担執筆 <u>駒田富佐夫</u>他、服薬指導、堀了平監修、医療薬学 第 6 版、廣川書店、東京、pp253～311、2014、分担執筆 <u>駒田富佐夫</u>他、薬物療法の個別化に関する情報、医薬品情報学－基礎から臨床へ－、岡野善郎、京谷庄二郎編、廣川書店、東京、pp191～211、2012、分担執筆 <u>駒田富佐夫</u>他、服薬指導、堀了平監修、医療薬学 第 5 版、廣川書店、東京、pp251～307、2009、分担執筆 <u>駒田富佐夫</u>他、薬物療法の個別化、NEW 医薬品情報、岡野善郎、<u>駒田富佐夫</u>、手嶋大輔編、廣川書店、東京、pp151～171、2007、共著 2006 年以前 6 冊

学会発表等	・2007 年以降における招待講演演者やシンポジスト ・2007 年以降における国際学会（国内外での開催を問わない）のうち<u>発表者</u>であるもの（共同研究者の場合は除く） ・2007 年以降における<u>本学学生</u>が<u>発表者</u>となっている学会発表（学生が共同研究者の場合は除く）
(招待講演)	
1	第 1 回先端ナノバイオフィォーラム（兵庫） 基調講演「遺伝子多型とオーダーメイド医療」2010 年 11 月
(シンポジスト)	
1	第 14 回日本医薬品情報学会総会・学術大会（東京） シンポジウム「大学における医薬品情報教育の進化」 医薬品情報教育と研究の動向」2011 年 7 月
2	第 12 回日本医薬品情報学会総会・学術大会（福岡） シンポジウム「医薬品情報学の研究のビジョンを語る」「医薬品情報学とは？」 2009 年 7 月
(学生発表)	
1	マウス胚由来腫瘍細胞から拍動心筋細胞への分化に及ぼす分化誘導剤の併用効果の検討 <u>岩切悦子</u> , 植村尚久, 橋本夏実, 菊地晴久, 大島吉輝, 瀬谷和彦, 古川賢一, 中山優子, 高良恒史, 木下淳, 駒田富佐夫 日本薬学会第 134 年会（熊本）2014 年 3 月
2	「副作用が疑われる症例報告に関する情報」を用いた市販後に発生する有害事象の解析、 <u>梶浦綾</u> 、木下淳、駒田富佐夫、第 16 回日本医薬品情報学会総会・学術大会（名古屋）2013 年 8 月
3	ドキソルビンによる CMV プロモーター駆動性遺伝子の発現誘導機構の解析、 <u>里木聖羅</u> 、木下淳、駒田富佐夫、日本薬学会第 133. 年会（横浜）2013 年 3 月
4	<u>上垣美紀</u> 、中津啓介、平井完治、木下淳、駒田富佐夫、バンコマイシンの投与設計における薬剤師介入効果の検討、日本薬学会近畿支部総会・大会（西宮）2012 年 10 月
5	<u>里木聖羅</u> 、木下淳、杉山明子、駒田富佐夫、CMV プロモーター駆動性遺伝子の発現制御過程における JNK および p38 MAPK 経路の関与、日本薬学会近畿支部総会・大会（西宮）2012 年 10 月

助成金・特許	・2007年以降に交付された競争的資金（研究助成金の名称と種別、課題、交付年度、代表者・分担者の別） ・2007年以降の特許
(競争的資金)	
1	日本学術振興会 科学研究費（挑戦的萌芽研究）「在宅において内服抗がん剤を経管投与する場合の介護者防護に関する検討」2011年～2013年 分担研究者
2	公益財団法人 ひょうご科学技術協会技術高度化研究開発支援助成金「簡易型糖尿病診断用装置の検出系開発」2012年 分担研究者
3	兵庫県COEプログラム推進事業「マイクロ空間を用いた超高密度細胞培養リアクタの研究開発」2008年～2009年プロジェクトリーダー
4	日本科学技術振興財団地域科学技術理解増進活動推進事業「ねずみ・犬・人の境界線はどこ？遺伝子を調べてみよう」2008年 実施代表者
5	（財）新産業創造研究機構 兵庫県産学官ビジネスインキュベート事業「微細構造工学を応用した人工臓器の開発に関する研究」2008年 研究代表者
6	（財）新産業創造研究機構 兵庫県産学官ビジネスインキュベート事業 「微細構造工学を応用した人工臓器の開発に関する研究」2007年 研究代表者
(特許)	
1	マイクロ空間構造体を用いた高密度三次元細胞培養法、特許出願2010-40610、特許公開2011-172533、 <u>駒田富佐夫</u> ，内海裕一，木下淳，大向智也，米澤健，本多祐二

社会活動	2007 年以降の社会における活動等（学会や公的機関の委員や役職など。ただし、学内や学園内の委員・役職などは除く） 2007 年以降のその他の社会活動（教育機関や公的機関における講演依頼など）
(社会活動)	姫路市 産学協同研究助成事業 選考委員 平成 21 年 4 月～現在に至る 兵庫県病院薬剤師会 理事 平成 20 年 4 月～平成 24 年 3 月

賞	2007 年以降に受賞した賞